

平成29年度個人情報保護制度の運用状況

市の情報公開制度と個人情報保護制度について、平成二十九年度の開示請求件数と、これに対する市の開示決定内容などについてお知らせします。

情報公開制度

▼開示請求 5百80件
▼市の開示決定 ①全部開示 4百60件 (79・3%) ②部分開示 1百18件 (20・3%) ③不開示 2件 (0・4%)

個人情報保護制度

平成二十九年度末に、市

が保有していた個人情報ファイル(※)は八百八十六件でした。

なお、保有個人情報の訂正請求や利用停止請求は、ありませんでした。

審査請求の状況

▼開示請求 2百56件
▼市の開示決定 ①全部開示 81件 (31・7%) ②部分開示 1百66件 (64・8%) ③不開示 9件 (3・5%)

各制度では、市の開示決定に対して、申請者が審査請求をすることができます。

※個人情報ファイル

保有個人情報を含む情報の集合物で、事務の目的を達成するために特定の保有個人情報を検索できるよう、体系的に構成したもの。または、氏名・生年月日・その他の記述などにより、特定の保有個人情報を検索できるよう、体系的に構成したもの。

○実施機関別の開示請求件数

実施機関	情報公開	個人情報
市長部局	408	172
教育委員会	53	0
選挙管理委員会	2	0
監査委員	0	0
公平委員会	0	0
農業委員会	0	0
固定資産評価審査委員会	0	0
消防本部	8	3
水道局	106	12
総合警域共立病院	3	69
議会	0	0
合計	580	256

平成二十九年度は、新たな審査請求はなく、平成二十八年度から審査継続中であった三件について裁決がなされました。一件については棄却する決定がなされ、他の二件は、実施機関の行った開示決定処分を取り消す決定がなされました。

○お問い合わせ

情報公開センター
☎ 22・7436

地名の中の「いわき」

字名の成り立ち①

明治維新後、政治体制は大きく転換し、新しい政策や仕組みが次々に導入されました。住民の土地管理に関する政策もその一つで、明治元(一八六八)年に土地の私有化が認められました。
明治五(一八七二)年二月には太政官布告により、誰もが土地を所有し、売買できることを宣言し、土地の所有者に地券(所有者の名前・面積・地価・地租額を記入した証書)を一筆ごとに交付しました。さらに、明治六(一八七三)年七

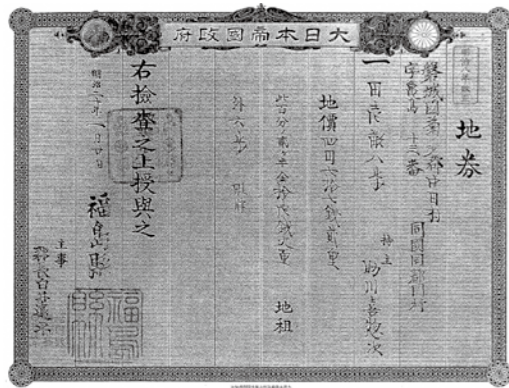
地名には、地域の歴史を知るヒントが隠されています。市内各所の地名にまつわる由来などを紹介し「いわき」の歴史をひもときます。

月には地租改正法を公布して、それまでの不安定な米による納税から、金銭に換算した安定的な納税確保を確立しようとした。これは、全国の一億二千万筆余りに及ぶ土地の所有について、一筆一筆を短期間で調査するというもので、煩雑で気の遠くなるような作業でした。
その間も政府は「全村之字数ヲ定メ、其区域ヲ正フスヘシ。尤一村中字名多数アリテ取調方不便ナルトキハ、成丈ケ字数ヲ減スヘシ」と、現在と比べ細分化されていた地名の減少を命じた。

当時は小字など、より細部を指す名称は数限りなく存在していました。また、場合によっては田畑の一枚一枚、さらには宅地や山林であっても、形状や使用状況によって、それぞれに地名が付けられていることもありました。例えば現在も残る「新屋敷」や「古屋敷」などの字名は、かつてはより狭い範囲をあらわしていたのです。

(いわき地域学會 小宅幸一)
※いわき市内の昔の写真をお持ちで、提供いただける方は、ふるさと発信課(☎ 22・7503)までご連絡ください。

一筆ごとに所有者を定め、その証明となる地券を発行(明治8(1875)年)



こんにちは市長室から ③



『いわきプライド』

いわき市長 清水敏男

5月18日・19日に開催された「第8回太平洋・島サミット」は、日本と太平洋の島国との絆を深め、大成功のうちに閉幕しました。2回連続となったサミットの開催は、大変名誉なことであり、本市の復興を全世界にアピールする良い機会となりました。

今月は全国植樹祭に合わせて、天皇、皇后両陛下が本市を訪問されます。本市への訪問は平成11年以来、東日本大震災後は初であり、

退位が確定しているため、最後の訪問となるでしょう。市民の皆さんと共に、温かくお迎えできればと思います。

また、小名浜港周辺では「復興まちびらき」を迎えます。これまで地震、津波により甚大な被害を受けたアクアマリンふくしま、いわき・ら・ら・ミュウが早期に再開し、港湾の復旧工事の完了とともに、小名浜魚市場の新施設や小名浜マリブリッジが整備されました。そして背後地の土地区画整理事業の完成と同時に、イオンモールいわき小名浜がオープンし、市内外の方々にぎわう復興のシンボルエリアへと生まれ変わります。

東日本大震災ではつらいことや悲しいことも数多くありましたが、市民一丸で復興・創生へこれからも「がんばっぺ!いわき」です。

イオン株式会社と地域活性化包括連携協定を締結

市は、4月23日に、イオン株式会社と同協定を締結しました。

同協定に基づき、地域社会の発展や、地域経済の活性化、市民サービスの向上に連携して取り組んでいきます。

取り組みの一つとして、6月中旬に発行が予定されている電子マネーカード「いわきフラワエON」の利用金額の一部が、本市に寄付されます。



協働による活動を推進

平成30年春の叙勲

＝年齢は4月29日現在。50音順・敬称略＝

○旭日単光章

▷金成克哉(82)=江名第三区区長 江名

○瑞宝双光章

▷秋山茂(70)=元公立中学校長 山田町

▷遠藤和夫(70)=元公立小学校長 石森

▷後藤幸子(70)=調停委員 平

▷下山田和順(70)=元公立小学校長 泉玉露

▷中山元二(87)=学校医 中之作

○瑞宝単光章

▷木田安則(67)=元市消防団分団長 好間町北好間

▷草野好弘(70)=元市消防団副団長 小川町下小川

▷畑中夏代(56)=金山保育園保育士 小名浜

▷油座盛明(68)=元市消防団分団長 田人町旅人